

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(高圧原子炉代替注水ポンプ等の耐震性についての計算書)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/1/21	NS2-添2-005-35	耐震(計算書)(VI-2-5-7-1-2)	VI-2-5-7-1-2 原子炉補機冷却水ポンプの耐震性についての計算書	P.9,10	P.9,P.10でそれぞれに同じ注記(設計用震度 I により定まる加速度又はこれを上回る加速度)があるが、ページによって意図していることが異なっていることから、違いが分かるよう記載を検討すること。	今回回答	構造強度評価の設計震度及び機能維持評価の機能維持評価用加速度について、位置付けが明確になるように、注記の記載を見直しました。(下線部参照) (旧)*3:設計用震度 I (弾性設計用地震動Sd)又は静的震度のいずれか大きい方、若しくはこれを上回る設計震度 *4:設計用震度 I (基準地震動Ss)又はこれを上回る設計震度 注記*:設計用震度 I (基準地震動Ss)により定まる加速度又はこれを上回る加速度とする。 (新)*3:設計用震度 I (弾性設計用地震動Sd)及び静的震度を上回る設計震度 *4:設計用震度 I (基準地震動Ss)を上回る設計震度 注記*:設計用震度 I (基準地震動Ss)により定まる加速度	NS2-添2-005-35改01「VI-2-5-7-1-2 原子炉補機冷却水ポンプの耐震性についての計算書」P.9～12	
2	2022/1/21	NS2-添2-014-21	耐震(計算書)(VI-2-11-2-7-6)	VI-2-11-2-7-6 燃料プール冷却系ポンプ室冷却機の耐震性についての計算書	—	コイルチャンバの固有周期について剛であるかを検討すること。	今回回答	補足説明資料に燃料プール冷却系ポンプ室冷却機のコイルチャンバが剛構造であることの説明を記載しました。	NS2-補-027-10-15改01「剛な設備の固有周期の算出について」P.1.11～13(通し頁 P.3.13～15)	
3	2022/1/21	NS2-添2-005-25	耐震(計算書)(VI-2-5-5-3-1)	VI-2-5-5-3-1 高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書	P.2,11	ポンプベースの図がわかりにくいので適正化すること。断面図において、ボルトで取り付けているのか溶接で取り付けているのか図で読めないことから、記載を検討すること。	今回回答	基礎・支持構造及び概略構造図のポンプベース明確化のため記載を見直しました。また、ポンプベース(ポンプ支持部)とポンプベース(プレート部)が溶接により接続されていることが分かるように図を見直しました。	NS2-添2-005-25改01「VI-2-5-5-3-1 高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書」P.2,11	
4	2022/1/21	NS2-補-027-10-15	補足説明資料	剛な設備の固有周期の算出について	P.7	ケーシングの曲げ剛性とせん断剛性によるパネについて検討すること。	今回回答	JEAG4601-1991追補版にて、ケーシング自体は固定部に比べて剛性が高く、ケーシング全体系の振動特性は固定部剛性に依存することが既往研究から確認されていることが記載されており、固定部剛性を考慮したケーシング全体系の固有周期算出方法も示されています。補足説明資料のケーシングについても、固定部剛性をを用いたケーシング全体系の固有周期算出方法を適用しています。	NS2-補-027-10-15改01「剛な設備の固有周期の算出について」P.7(通し頁 P.9)	
5	2022/1/21	NS2-添2-005-25	耐震(計算書)(VI-2-5-5-3-1)	VI-2-5-5-3-1 高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書	—	溶接かボルトかの記載の充実を検討し、図中に基礎がわかるよう記載を検討すること。	今回回答	ポンプベース(ポンプ支持部)とポンプベース(プレート部)が溶接により接続されていることが分かるように図を見直しました。また、図中に基礎の記載を追加しました。	NS2-添2-005-25改01「VI-2-5-5-3-1 高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書」P.2	
6	2022/1/21	NS2-補-027-10-10	補足説明資料	高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書に関する補足説明資料	P.2	試験体の試験結果が実機に適用できることを説明すること。	今回回答	試験体は実機よりも外形寸法及び質量が大きく、耐震評価上厳しい条件において加振試験を実施していることを記載しました。	NS2-補-027-10-10改01「高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書に関する補足説明資料」P.1	
7	2022/1/21	NS2-補-027-10-10	補足説明資料	高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書に関する補足説明資料	P.3	固有振動数を判断した理由を説明すること。	今回回答	固有振動数は、周波数応答関数の応答倍率を参照のうえ、位相も参考にして選定していることを記載しました。	NS2-補-027-10-10改01「高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書に関する補足説明資料」P.5	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(高圧原子炉代替注水ポンプ等の耐震性についての計算書)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
1	NS2-添2-005-25 改01	VI-2-5-5-3-1 高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書	P.1	設備分類の記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)常設耐震重要重大事故防止設備、常設耐震重要重大事故防止設備以外の常設重大事故緩和設備 (新)常設耐震重要重大事故防止設備及び常設重大事故緩和設備	2022/6/23	
2	NS2-添2-005-25 改01	VI-2-5-5-3-1 高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書	P.1	「1. 概要」について、基本方針に基づく前提条件の明確化として以下を追記しました。(下線部参照) (旧)評価を実施する。 (新)剛構造として評価を実施する。	2022/6/23	
3	NS2-添2-005-25 改01	VI-2-5-5-3-1 高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書	P.3	「3.1 構造強度評価方法」に、荷重の組合せ方法の明確化のため以下を追記しました。 ・また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2022/6/23	
4	NS2-添2-005-25 改01	VI-2-5-5-3-1 高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書	P.5,10	表3-2及び「1.4.1 ボルトの応力」における表の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)引張り (新)引張	2022/6/23	
5	NS2-添2-005-25 改01	VI-2-5-5-3-1 高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書	P.6	表3-3におけるポンプ取付ボルトの材料について、表現の適正化のため注記による記載に修正しました。	2022/6/23	
6	NS2-添2-005-25 改01	VI-2-5-5-3-1 高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書	P.7	高圧原子炉代替注水系ポンプはVI-2-1-9「機能維持の基本方針」に記載されていない形式であるため、表4-1の「形式」列を削除しました。	2022/6/23	
7	NS2-添2-005-25 改01	VI-2-5-5-3-1 高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書	P.9	「1.1 設計条件」における注記*3について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度Ⅱ(基準地震動 S_s)又はこれを上回る設計震度 (新)設計用震度Ⅱ(基準地震動 S_s)	2022/6/23	
8	NS2-添2-005-25 改01	VI-2-5-5-3-1 高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書	P.10	「1.4.2 動的機能の評価結果」における注記*について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度Ⅱ(基準地震動 S_s)により定まる加速度又はこれを上回る加速度とする。 (新)設計用震度Ⅱ(基準地震動 S_s)により定まる加速度	2022/6/23	
9	NS2-添2-005-30 改01	VI-2-5-6-1-1 原子炉隔離時冷却ポンプの耐震性についての計算書	P.1	「1. 概要」について、基本方針に基づく前提条件の明確化として以下を追記しました。(下線部参照) (旧)評価を実施する。 (新)剛構造として評価を実施する。	2022/6/23	
10	NS2-添2-005-30 改01	VI-2-5-6-1-1 原子炉隔離時冷却ポンプの耐震性についての計算書	P.2	表2-1における基礎・支持構造について、明確化のため以下を追記しました。(下線部参照) (旧)ポンプはポンプベースに固定され、ポンプベースは基礎ボルトで基礎に据え付ける。 (新)ポンプはポンプベースにポンプ取付ボルトで固定され、ポンプベースは基礎ボルトで基礎に据え付ける。	2022/6/23	
11	NS2-添2-005-30 改01	VI-2-5-6-1-1 原子炉隔離時冷却ポンプの耐震性についての計算書	P.3	「3.1 構造強度評価方法」に、荷重の組合せ方法の明確化のため以下を追記しました。 ・また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、SRSS法を適用する。	2022/6/23	
12	NS2-添2-005-30 改01	VI-2-5-6-1-1 原子炉隔離時冷却ポンプの耐震性についての計算書	P.5,10,12	表3-3及び「1.4.1及び2.4.1 ボルトの応力」における表の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)引張り (新)引張	2022/6/23	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
13	NS2-添2-005-30 改01	VI-2-5-6-1-1 原子炉隔離時冷却ポンプの耐震性についての計算書	P.9	「1.1 設計条件」における注記*3について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 I (弾性設計用地震動Sd)又は静的震度のいずれか大きい方。若しくはこれを上回る設計震度 (新)設計用震度 I (弾性設計用地震動Sd)及び静的震度を上回る設計震度	2022/6/23	
14	NS2-添2-005-30 改01	VI-2-5-6-1-1 原子炉隔離時冷却ポンプの耐震性についての計算書	P.9,11	「1.1 設計条件」における注記*4及び「2.1 設計条件」における注記*3について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 I (基準地震動Ss)又はこれを上回る設計震度 (新)設計用震度 I (基準地震動Ss)を上回る設計震度	2022/6/23	
15	NS2-添2-005-30 改01	VI-2-5-6-1-1 原子炉隔離時冷却ポンプの耐震性についての計算書	P.10,12	「1.4.2及び2.4.2 動的機能の評価結果」における注記*について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 II (基準地震動Ss)により定まる加速度又はこれを上回る加速度とする。 (新)設計用震度 II (基準地震動Ss)により定まる加速度	2022/6/23	
16	NS2-添2-005-31 改01	VI-2-5-6-1-2 原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンの耐震性についての計算書	P.1	「1. 概要」について、基本方針に基づく前提条件の明確化として以下を追記しました。(下線部参照) (旧)評価を実施する。 (新)剛構造として評価を実施する。	2022/6/23	
17	NS2-添2-005-31 改01	VI-2-5-6-1-2 原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンの耐震性についての計算書	P.2	表2-1における基礎・支持構造について、明確化のため以下を追記しました。(下線部参照) (旧)タービンはタービンベースに固定され、タービンベースは基礎ボルトで基礎に据え付ける。 (新)タービンはタービンベースにタービン取付ボルトで固定され、タービンベースは基礎ボルトで基礎に据え付ける。	2022/6/23	
18	NS2-添2-005-31 改01	VI-2-5-6-1-2 原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンの耐震性についての計算書	P.2	表2-1における概略構造図について、明確化のため以下を追記しました。 ・(側面図) ・(全体図)	2022/6/23	
19	NS2-添2-005-31 改01	VI-2-5-6-1-2 原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンの耐震性についての計算書	P.3	「3.1 構造強度評価方法」に、荷重の組合せ方法の明確化のため以下を追記しました。 ・また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2022/6/23	
20	NS2-添2-005-31 改01	VI-2-5-6-1-2 原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンの耐震性についての計算書	P.5,10,12	表3-3及び「1.4.1及び2.4.1 ボルトの応力」における表の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)引張り (新)引張	2022/6/23	
21	NS2-添2-005-31 改01	VI-2-5-6-1-2 原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンの耐震性についての計算書	P.9	「1.1 設計条件」における注記*3について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 I (弾性設計用地震動Sd)又は静的震度のいずれか大きい方。若しくはこれを上回る設計震度 (新)設計用震度 I (弾性設計用地震動Sd)及び静的震度を上回る設計震度	2022/6/23	
22	NS2-添2-005-31 改01	VI-2-5-6-1-2 原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンの耐震性についての計算書	P.9,11	「1.1 設計条件」における注記*4及び「2.1 設計条件」における注記*3について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 I (基準地震動Ss)又はこれを上回る設計震度 (新)設計用震度 I (基準地震動Ss)を上回る設計震度	2022/6/23	
23	NS2-添2-005-31 改01	VI-2-5-6-1-2 原子炉隔離時冷却ポンプ駆動用蒸気タービンの耐震性についての計算書	P.10,12	「1.4.2及び2.4.2 動的機能の評価結果」における注記*について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 II (基準地震動Ss)により定まる加速度又はこれを上回る加速度とする。 (新)設計用震度 II (基準地震動Ss)により定まる加速度	2022/6/23	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
24	NS2-添2-005-35 改01	VI-2-5-7-1-2 原子炉補機冷却水ポンプの耐震性についての計算書	P.1	「1.概要」について、基本方針に基づく前提条件の明確化として以下を追記しました。(下線部参照) (旧) 評価を実施する。 (新) 剛構造として評価を実施する。	2022/6/23	
25	NS2-添2-005-35 改01	VI-2-5-7-1-2 原子炉補機冷却水ポンプの耐震性についての計算書	P.2	表2-1における基礎・支持構造について、明確化のため以下を追記しました。(下線部参照) (旧) ポンプはポンプベースに固定され、ポンプベースは基礎ボルトで基礎に据え付ける。 (新) ポンプ等はポンプベースにポンプ取付ボルト及び原動機取付ボルトで固定され、ポンプベースは基礎ボルトで基礎に据え付ける。	2022/6/23	
26	NS2-添2-005-35 改01	VI-2-5-7-1-2 原子炉補機冷却水ポンプの耐震性についての計算書	P.3	「3.1 構造強度評価方法」に、荷重の組合せ方法の明確化のため以下を追記しました。 ・また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、SRSS法を適用する。	2022/6/23	
27	NS2-添2-005-35 改01	VI-2-5-7-1-2 原子炉補機冷却水ポンプの耐震性についての計算書	P.5,10,12	表3-3及び「1.4.1及び2.4.1 ボルトの応力」における表の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧) 引張り (新) 引張	2022/6/23	
28	NS2-添2-005-38 改01	VI-2-5-7-1-5 原子炉補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.5	「2.4 記号の説明」における f_{ts} について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧) 引張力とせん断力を同時に受けるボルトの許容引張応力 (新) 引張力とせん断力を同時に受けるボルトの許容引張応力(許容組合せ応力)	2022/6/23	
29	NS2-添2-005-38 改01	VI-2-5-7-1-5 原子炉補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.8	鉛直方向固有周期の計算を省略する旨の注記について、根拠を明確化するため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧) 鉛直方向は十分な剛性を有していることから、固有周期の計算を省略する。 (新) 鉛直方向の剛性は、構造上水平方向の剛性より高いため、鉛直方向固有周期の計算は省略する。	2022/6/23	
30	NS2-添2-005-38 改01	VI-2-5-7-1-5 原子炉補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.9,14,20~23	鉛直方向固有周期の計算を省略する旨の注記について、根拠を明確化するため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧) 固有周期は十分に小さく、計算は省略する。 (新) 鉛直方向の剛性は、構造上水平方向の剛性より高いため、鉛直方向固有周期の計算は省略する。	2022/6/23	
31	NS2-添2-005-38 改01	VI-2-5-7-1-5 原子炉補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.9	「4.3 固有周期の計算結果」について、表現の適正化のため以下を追記しました。(下線部参照) (旧) 剛であることを確認した。 (新) 剛構造であることを確認した。	2022/6/23	
32	NS2-添2-005-38 改01	VI-2-5-7-1-5 原子炉補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.10	「5.1 構造強度評価方法」に、荷重の組合せ方法の明確化のため以下を追記しました。 ・また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2022/6/23	
33	NS2-添2-005-38 改01	VI-2-5-7-1-5 原子炉補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.10	「5.1 構造強度評価方法」について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧) 図5-1、図5-2 (新) 図5-1及び図5-2	2022/6/23	
34	NS2-添2-005-38 改01	VI-2-5-7-1-5 原子炉補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.12,15,16,21,23	表5-3、図5-1,2及び「1.4.1及び2.4.1 ボルトの応力」における表の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧) 引張り (新) 引張	2022/6/23	
35	NS2-添2-005-38 改01	VI-2-5-7-1-5 原子炉補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.14,20	表5-6及び「1.1 設計条件」における注記*3について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧) 設計用震度Ⅱ(弾性設計用地震動Sd)又は静的震度のいずれか大きい方。若しくはこれを上回る設計震度 (新) 設計用震度Ⅱ(弾性設計用地震動Sd)及び静的震度を上回る設計震度	2022/6/23	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
36	NS2-添2-005-38 改01	VI-2-5-7-1-5 原子炉補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.14,20,22	表5-6における注記*4, 表5-7における注記*3, 「1.1 設計条件」における注記*4及び「2.1 設計条件」における注記*3について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧) 設計用震度Ⅱ(基準地震動S _s)又はこれを上回る設計震度 (新) 設計用震度Ⅱ(基準地震動S _s)を上回る設計震度	2022/6/23	
37	NS2-添2-005-38 改01	VI-2-5-7-1-5 原子炉補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.18	「5.6.1 基礎ボルトの応力評価」について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧) 許容引張応力 (新) 許容組合せ応力	2022/6/23	
38	NS2-添2-005-41 改01	VI-2-5-7-2-2 高圧炉心スプレ補機冷却水ポンプの耐震性についての計算書	P.1	「1. 概要」について、基本方針に基づく前提条件の明確化として以下を追記しました。(下線部参照) (旧) 評価を実施する。 (新) 剛構造として評価を実施する。	2022/6/23	
39	NS2-添2-005-41 改01	VI-2-5-7-2-2 高圧炉心スプレ補機冷却水ポンプの耐震性についての計算書	P.2	表2-1における基礎・支持構造について、明確化のため以下を追記しました。(下線部参照) (旧) ポンプはポンプベースに固定され、ポンプベースは基礎ボルトで基礎に据え付ける。 (新) ポンプ等はポンプベースにポンプ取付ボルト及び原動機取付ボルトで固定され、ポンプベースは基礎ボルトで基礎に据え付ける。	2022/6/23	
40	NS2-添2-005-41 改01	VI-2-5-7-2-2 高圧炉心スプレ補機冷却水ポンプの耐震性についての計算書	P.3	「3.1 構造強度評価方法」に、荷重の組合せ方法の明確化のため以下を追記しました。 ・また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、SRSS法を適用する。	2022/6/23	
41	NS2-添2-005-41 改01	VI-2-5-7-2-2 高圧炉心スプレ補機冷却水ポンプの耐震性についての計算書	P.5,10,12	表3-3及び「1.4.1及び2.4.1 ボルトの応力」における表の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧) 引張り (新) 引張	2022/6/23	
42	NS2-添2-005-41 改01	VI-2-5-7-2-2 高圧炉心スプレ補機冷却水ポンプの耐震性についての計算書	P.9	「1.1 設計条件」における注記*3について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧) 設計用震度Ⅱ(弾性設計用地震動S _d)又は静的震度のいずれか大きい方、若しくはこれを上回る設計震度 (新) 設計用震度Ⅱ(弾性設計用地震動S _d)及び静的震度を上回る設計震度	2022/6/23	
43	NS2-添2-005-41 改01	VI-2-5-7-2-2 高圧炉心スプレ補機冷却水ポンプの耐震性についての計算書	P.9,11	「1.1 設計条件」における注記*4及び「2.1 設計条件」における注記*3について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧) 設計用震度Ⅰ(基準地震動S _s)又はこれを上回る設計震度 (新) 設計用震度Ⅰ(基準地震動S _s)を上回る設計震度	2022/6/23	
44	NS2-添2-005-41 改01	VI-2-5-7-2-2 高圧炉心スプレ補機冷却水ポンプの耐震性についての計算書	P.10,12	「1.4.2及び2.4.2 動的機能の評価結果」における注記*について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧) 設計用震度Ⅱ(基準地震動S _s)により定まる加速度又はこれを上回る加速度とする。 (新) 設計用震度Ⅱ(基準地震動S _s)により定まる加速度	2022/6/23	
45	NS2-添2-005-44 改01	VI-2-5-7-2-5 高圧炉心スプレ補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.5	「2.4 記号の説明」におけるf _{ts} について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧) 引張力とせん断力を同時に受けるボルトの許容引張応力 (新) 引張力とせん断力を同時に受けるボルトの許容引張応力(許容組合せ応力)	2022/6/23	
46	NS2-添2-005-44 改01	VI-2-5-7-2-5 高圧炉心スプレ補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.8	鉛直方向固有周期の計算を省略する旨の注記について、根拠を明確化するため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧) 鉛直方向は十分な剛性を有していることから、固有周期の計算は省略する。 (新) 鉛直方向の剛性は、構造上水平方向の剛性より高いため、鉛直方向固有周期の計算は省略する。	2022/6/23	
47	NS2-添2-005-44 改01	VI-2-5-7-2-5 高圧炉心スプレ補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.9,14,20~23	鉛直方向固有周期の計算を省略する旨の注記について、根拠を明確化するため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧) 固有周期は十分に小さく、計算は省略する。 (新) 鉛直方向の剛性は、構造上水平方向の剛性より高いため、鉛直方向固有周期の計算は省略する。	2022/6/23	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
48	NS2-添2-005-44 改01	VI-2-5-7-2-5 高圧炉心スプレ補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.9	「4.3 固有周期の計算結果」について、表現の適正化のため以下を追記しました。(下線部参照) (旧)剛であることを確認した。 (新)剛構造であることを確認した。	2022/6/23	
49	NS2-添2-005-44 改01	VI-2-5-7-2-5 高圧炉心スプレ補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.10	「5.1 構造強度評価方法」に、荷重の組合せ方法の明確化のため以下を追記しました。 ・また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2022/6/23	
50	NS2-添2-005-44 改01	VI-2-5-7-2-5 高圧炉心スプレ補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.10	「5.1 構造強度評価方法」について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)図5-1、図5-2 (新)図5-1及び図5-2	2022/6/23	
51	NS2-添2-005-44 改01	VI-2-5-7-2-5 高圧炉心スプレ補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.12,15,16,21,23	表5-3、図5-1、図5-2及び「1.4.2及び2.4.2 ボルトの応力」における表の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)引張り (新)引張	2022/6/23	
52	NS2-添2-005-44 改01	VI-2-5-7-2-5 高圧炉心スプレ補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.14,20	表5-6及び「1.1 設計条件」における注記*3について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度Ⅱ(弾性設計用地震動Sd)又は静的震度のいずれか大きい方。若しくはこれを上回る設計震度 (新)設計用震度Ⅱ(弾性設計用地震動Sd)及び静的震度を上回る設計震度	2022/6/23	
53	NS2-添2-005-44 改01	VI-2-5-7-2-5 高圧炉心スプレ補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.14,20,22	表5-6における注記*4、表5-7における注記*3、「1.1 設計条件」における注記*4及び「2.1 設計条件」における注記*3について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度Ⅱ(基準地震動Ss)又はこれを上回る設計震度 (新)設計用震度Ⅱ(基準地震動Ss)を上回る設計震度	2022/6/23	
54	NS2-添2-005-44 改01	VI-2-5-7-2-5 高圧炉心スプレ補機海水ストレーナの耐震性についての計算書	P.18	「5.6.1 基礎ボルトの応力評価」について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)許容引張応力 (新)許容組合せ応力	2022/6/23	
55	NS2-添2-008-13 改01	VI-2-8-3-1-2 中央制御室送風機の耐震性についての計算書	P.1	「1. 概要」について、基本方針に基づく前提条件の明確化として以下を追記しました。(下線部参照) (旧)評価を実施する。 (新)剛構造として評価を実施する。	2022/6/23	
56	NS2-添2-008-13 改01	VI-2-8-3-1-2 中央制御室送風機の耐震性についての計算書	P.2	表2-1における基礎・支持構造について、明確化のため以下を追記しました。(下線部参照) (旧)ファンは基礎ボルトで基礎に据え付ける。 (新)ファン等は基礎ボルトで基礎に据え付ける。原動機は原動機側軸受台に原動機取付ボルトで固定され、原動機側軸受台は基礎ボルトで基礎に据え付ける。	2022/6/23	
57	NS2-添2-008-13 改01	VI-2-8-3-1-2 中央制御室送風機の耐震性についての計算書	P.2	表2-1における概略構造図について、明確化のため以下を追記しました。 ・(全体図) ・(側面図)	2022/6/23	
58	NS2-添2-008-13 改01	VI-2-8-3-1-2 中央制御室送風機の耐震性についての計算書	P.2,6,7,10~14	ケーシング取付ボルトの名称について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)ケーシング取付ボルト (新)基礎ボルト(ケーシング)	2022/6/23	
59	NS2-添2-008-13 改01	VI-2-8-3-1-2 中央制御室送風機の耐震性についての計算書	P.3	「3.1 構造強度評価方法」に、荷重の組合せ方法の明確化のため以下を追記しました。 ・また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2022/6/23	
60	NS2-添2-008-13 改01	VI-2-8-3-1-2 中央制御室送風機の耐震性についての計算書	P.5,11,13	表3-3及び「1.4.1及び2.4.1 ボルトの応力」における表の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)引張り (新)引張	2022/6/23	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
61	NS2-添2-008-13 改01	VI-2-8-3-1-2 中央制御室送風機の耐震性についての計算書	P.10	「1.1 設計条件」における注記*3について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 I (弾性設計用地震動Sd)又は静的震度のいずれか大きい方、若しくはこれを上回る設計震度 (新)設計用震度 I (弾性設計用地震動Sd)及び静的震度を上回る設計震度	2022/6/23	
62	NS2-添2-008-13 改01	VI-2-8-3-1-2 中央制御室送風機の耐震性についての計算書	P.10,12	「1.1 設計条件」における注記*4及び「2.1 設計条件」における注記*3について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 I (基準地震動Ss)又はこれを上回る設計震度 (新)設計用震度 I (基準地震動Ss)を上回る設計震度	2022/6/23	
63	NS2-添2-008-13 改01	VI-2-8-3-1-2 中央制御室送風機の耐震性についての計算書	P.11,13	「1.4.2及び2.4.2 動的機能の評価結果」における注記*について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 I (基準地震動Ss)により定まる加速度又はこれを上回る加速度とする。 (新)設計用震度 I (基準地震動Ss)により定まる加速度	2022/6/23	
64	NS2-添2-008-14 改01	VI-2-8-3-1-3 中央制御室非常用再循環送風機の耐震性についての計算書	P.1	「1. 概要」について、基本方針に基づく前提条件の明確化として以下を追記しました。(下線部参照) (旧)評価を実施する。 (新)剛構造として評価を実施する。	2022/6/23	
65	NS2-添2-008-14 改01	VI-2-8-3-1-3 中央制御室非常用再循環送風機の耐震性についての計算書	P.2	表2-1における基礎・支持構造について、明確化のため以下を追記しました。(下線部参照) (旧)ファンはベースに固定され、ベースは基礎ボルトで基礎に据え付ける。 (新)ファン等はベースにケーシング取付ボルト及び原動機取付ボルトで固定され、ベースは基礎ボルトで基礎に据え付ける。	2022/6/23	
66	NS2-添2-008-14 改01	VI-2-8-3-1-3 中央制御室非常用再循環送風機の耐震性についての計算書	P.2	表2-1における概略構造図について、明確化のため以下を追記しました。 ・(全体図) ・(側面図) ・ファン ・原動機	2022/6/23	
67	NS2-添2-008-14 改01	VI-2-8-3-1-3 中央制御室非常用再循環送風機の耐震性についての計算書	P.3	「3.1 構造強度評価方法」に、荷重の組合せ方法の明確化のため以下を追記しました。 ・また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2022/6/23	
68	NS2-添2-008-14 改01	VI-2-8-3-1-3 中央制御室非常用再循環送風機の耐震性についての計算書	P.5,11,13	表3-3及び「1.4.1及び2.4.1 ボルトの応力」における表の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)引張り (新)引張	2022/6/23	
69	NS2-添2-008-14 改01	VI-2-8-3-1-3 中央制御室非常用再循環送風機の耐震性についての計算書	P.10,12	基準床レベルの誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)EL 22.1 ^{*1} 、26.7 ^{*1} (新)EL 26.7 ^{*1}	2022/6/23	
70	NS2-添2-008-14 改01	VI-2-8-3-1-3 中央制御室非常用再循環送風機の耐震性についての計算書	P.10	「1.1 設計条件」における注記*3について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 I (弾性設計用地震動Sd)又は静的震度のいずれか大きい方、若しくはこれを上回る設計震度 (新)設計用震度 I (弾性設計用地震動Sd)及び静的震度を上回る設計震度	2022/6/23	
71	NS2-添2-008-14 改01	VI-2-8-3-1-3 中央制御室非常用再循環送風機の耐震性についての計算書	P.10,12	「1.1 設計条件」における注記*4及び「2.1 設計条件」における注記*3について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 I (基準地震動Ss)又はこれを上回る設計震度 (新)設計用震度 I (基準地震動Ss)を上回る設計震度	2022/6/23	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
72	NS2-添2-008-14 改01	VI-2-8-3-1-3 中央制御室非常用再循環送風機の耐震性についての計算書	P.11,13	「1.4.2及び2.4.2 動的機能の評価結果」における注記*について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 I (基準地震動Ss)により定まる加速度又はこれを上回る加速度とする。 (新)設計用震度 I (基準地震動Ss)により定まる加速度	2022/6/23	
73	NS2-添2-008-15 改01	VI-2-8-3-1-4 中央制御室非常用再循環処理装置フィルタの耐震性についての計算書	P.2	主体構造の明確化のため記載を以下の通り修正しました。(下線部参照) (旧)形鋼骨組及び鋼板外板による溶接構造 (新)粒子用高効率フィルタ及びチャコールフィルタ(形鋼骨組及び鋼板外板による溶接構造)	2022/6/23	
74	NS2-添2-008-15 改01	VI-2-8-3-1-4 中央制御室非常用再循環処理装置フィルタの耐震性についての計算書	P.2	表2-1における概略構造図について、明確化のため以下を追記しました。 ・(全体図) ・(側面図) ・粒子用高効率フィルタ ・チャコールフィルタ	2022/6/23	
75	NS2-添2-008-15 改01	VI-2-8-3-1-4 中央制御室非常用再循環処理装置フィルタの耐震性についての計算書	P.2	「形鋼」が適切であることを確認しました。	2022/6/23	
76	NS2-添2-008-15 改01	VI-2-8-3-1-4 中央制御室非常用再循環処理装置フィルタの耐震性についての計算書	P.5	「2.4 記号の説明」におけるftsについて、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)引張力とせん断力を同時に受けるボルトの許容引張応力 (新)引張力とせん断力を同時に受けるボルトの許容引張応力(許容組合せ応力)	2022/6/23	
77	NS2-添2-008-15 改01	VI-2-8-3-1-4 中央制御室非常用再循環処理装置フィルタの耐震性についての計算書	P.10	「5.1 構造強度評価方法」について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)図5-1, 図5-2 (新)図5-1及び図5-2	2022/6/23	
78	NS2-添2-008-15 改01	VI-2-8-3-1-4 中央制御室非常用再循環処理装置フィルタの耐震性についての計算書	P.12,15,16,21,23	表5-3, 図5-1, 図5-2及び「1.4.2及び2.4.2 ボルトの応力」における表の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)引張り (新)引張	2022/6/23	
79	NS2-添2-008-15 改01	VI-2-8-3-1-4 中央制御室非常用再循環処理装置フィルタの耐震性についての計算書	P.14,20	表5-6及び「1.1 設計条件」における注記*2について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 I (弾性設計用地震動Sd)又は静的震度のいずれか大きい方。若しくはこれを上回る設計震度 (新)設計用震度 I (弾性設計用地震動Sd)及び静的震度を上回る設計震度	2022/6/23	
80	NS2-添2-008-15 改01	VI-2-8-3-1-4 中央制御室非常用再循環処理装置フィルタの耐震性についての計算書	P.14,20,22	表5-6における注記*3, 表5-7における注記*2, 「1.1 設計条件」における注記*3及び「2.1 設計条件」における注記*2について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 I (基準地震動Ss)又はこれを上回る設計震度 (新)設計用震度 I (基準地震動Ss)を上回る設計震度	2022/6/23	
81	NS2-添2-008-15 改01	VI-2-8-3-1-4 中央制御室非常用再循環処理装置フィルタの耐震性についての計算書	P.14,20,22	基準床レベルの誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)EL 22.1 ^{*1} , 26.7 ^{*1} (新)EL 26.7 ^{*1}	2022/6/23	
82	NS2-添2-008-15 改01	VI-2-8-3-1-4 中央制御室非常用再循環処理装置フィルタの耐震性についての計算書	P.18	「5.6.1 ボルトの応力評価」について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)許容引張応力 (新)許容組合せ応力	2022/6/23	
83	NS2-添2-009-27 改01	VI-2-9-4-4-4-1 残留熱代替除去ポンプの耐震性についての計算書	P.1	「1. 概要」について、基本方針に基づく前提条件の明確化として以下を追記しました。(下線部参照) (旧)評価を実施する。 (新)剛構造として評価を実施する。	2022/6/23	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
84	NS2-添2-009-27 改01	VI-2-9-4-4-4-1 残留熱代替除去ポンプの耐震性についての計算書	P.2	表2-1における基礎・支持構造について、明確化のため以下を追記しました。(下線部参照) (旧)ポンプはポンプベースに固定され、ポンプベースは基礎ボルトで基礎に据え付ける。 (新)ポンプ等はポンプベースにポンプ取付ボルト及び原動機取付ボルトで固定され、ポンプベースは基礎ボルトで基礎に据え付ける。	2022/6/23	
85	NS2-添2-009-27 改01	VI-2-9-4-4-4-1 残留熱代替除去ポンプの耐震性についての計算書	P.3	「3.1 構造強度評価方法」に、荷重の組合せ方法の明確化のため以下を追記しました。 ・また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、SRSS法を適用する。	2022/6/23	
86	NS2-添2-009-27 改01	VI-2-9-4-4-4-1 残留熱代替除去ポンプの耐震性についての計算書	P.5,10	表3-2及び「1.4.1 ボルトの応力」における表の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)引張り (新)引張	2022/6/23	
87	NS2-添2-009-27 改01	VI-2-9-4-4-4-1 残留熱代替除去ポンプの耐震性についての計算書	P.9	「1.1 設計条件」における注記*3について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 I (基準地震動S _s)又はこれを上回る設計震度 (新)設計用震度 I (基準地震動S _s)を上回る設計震度	2022/6/23	
88	NS2-添2-009-27 改01	VI-2-9-4-4-4-1 残留熱代替除去ポンプの耐震性についての計算書	P.10	「1.4.2 動的機能維持の評価結果」における注記*について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 II (基準地震動S _s)により定まる加速度又はこれを上回る加速度とする。 (新)設計用震度 II (基準地震動S _s)により定まる加速度	2022/6/23	
89	NS2-添2-014-21 改01	VI-2-11-2-7-6 燃料プール冷却系ポンプ室冷却機の耐震性についての計算書	P.1	「1. 概要」について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)下位クラス設備 (新)下位クラス施設	2022/6/23	
90	NS2-添2-014-21 改01	VI-2-11-2-7-6 燃料プール冷却系ポンプ室冷却機の耐震性についての計算書	P.1	「1. 概要」について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)基準地震動S _s に対して (新)基準地震動S _s による地震力に対して	2022/6/23	
91	NS2-添2-014-21 改01	VI-2-11-2-7-6 燃料プール冷却系ポンプ室冷却機の耐震性についての計算書	P.1	「1. 概要」について、VI-2-1-14「機器・配管系の計算書作成の方法 添付資料-1 横形ポンプの耐震性についての計算書作成の基本方針」に基づき剛構造として評価を実施する説明を記載しました。	2022/6/23	
92	NS2-添2-014-21 改01	VI-2-11-2-7-6 燃料プール冷却系ポンプ室冷却機の耐震性についての計算書	P.1	「2.1 配置概要」について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設置される (新)設置されている	2022/6/23	
93	NS2-添2-014-21 改01	VI-2-11-2-7-6 燃料プール冷却系ポンプ室冷却機の耐震性についての計算書	P.1	「2.1 配置概要」について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)上位クラス施設である原子炉補機冷却系配管に隣接していることから、転倒により (新)上位クラス施設である原子炉補機冷却系配管が接続されていることから、地震時に本機器が転倒した場合は、	2022/6/23	
94	NS2-添2-014-21 改01	VI-2-11-2-7-6 燃料プール冷却系ポンプ室冷却機の耐震性についての計算書	P.1	図2-1のタイトルについて、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)燃料プール冷却系ポンプ室冷却機の位置関係図 (新)燃料プール冷却系ポンプ室冷却機と上位クラス施設の位置関係図	2022/6/23	
95	NS2-添2-014-21 改01	VI-2-11-2-7-6 燃料プール冷却系ポンプ室冷却機の耐震性についての計算書	P.1	図2-1について、波及的影響を考慮する下位クラス施設及び上位クラス施設の位置関係を明確化するため、図を見直しました。	2022/6/23	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
96	NS2-添2-014-21 改01	VI-2-11-2-7-6 燃料プール冷却系ポンプ室冷却機の耐震性についての計算書	P.3	表2-1における基礎・支持構造について、明確化のため以下を追記しました。(下線部参照) (旧)ファンはコイルチャンバに固定され、コイルチャンバは基礎ボルトで基礎に据え付ける。 (新)ファン等はコイルチャンバにファン取付ボルトで固定され、コイルチャンバは基礎ボルトで基礎に据え付ける。	2022/6/23	
97	NS2-添2-014-21 改01	VI-2-11-2-7-6 燃料プール冷却系ポンプ室冷却機の耐震性についての計算書	P.3	表2-1における主体構造について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)遠心直動型ファン プレートフィン型冷水コイル (新)遠心直動型ファン及びプレートフィン型冷水コイル	2022/6/23	
98	NS2-添2-014-21 改01	VI-2-11-2-7-6 燃料プール冷却系ポンプ室冷却機の耐震性についての計算書	P.3	表2-1における概略構造図について、明確化のため以下を追記しました。 ・(側面図) ・(全体図)	2022/6/23	
99	NS2-添2-014-21 改01	VI-2-11-2-7-6 燃料プール冷却系ポンプ室冷却機の耐震性についての計算書	P.4	「3.1 構造強度評価方法」に、荷重の組合せ方法の明確化のため以下を追記しました。 ・また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、絶対値和を適用する。	2022/6/23	
100	NS2-添2-014-21 改01	VI-2-11-2-7-6 燃料プール冷却系ポンプ室冷却機の耐震性についての計算書	P.5,9	表3-2及び「1.4.1 ボルトの応力」における表の誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)引張り (新)引張	2022/6/23	
101	NS2-添2-014-21 改01	VI-2-11-2-7-6 燃料プール冷却系ポンプ室冷却機の耐震性についての計算書	P.8	「1.1 設計条件」における注記*3について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設計用震度 I (基準地震動Ss)又はこれを上回る設計震度 (新)設計用震度 I (基準地震動Ss)を上回る設計震度	2022/6/23	
102	NS2-添2-014-24	VI-2-11-2-7-9 格納容器空気置換排風機の耐震性についての計算書	P.1	「1. 概要」について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)「波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針」にて設定している耐震評価方針 (新)「波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針」の耐震評価方針	2022/6/23	
103	NS2-添2-014-24	VI-2-11-2-7-9 格納容器空気置換排風機の耐震性についての計算書	P.1	「1. 概要」について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)下位クラスである格納容器空気置換排風機が「基準地震動Ssによる地震力」に対して (新)下位クラス施設である格納容器空気置換排風機(Cクラス施設)が基準地震動Ssによる地震力に対して	2022/6/23	
104	NS2-添2-014-24	VI-2-11-2-7-9 格納容器空気置換排風機の耐震性についての計算書	P.1	「1. 概要」について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)隣接する上記クラス (新)隣接している上位クラス施設	2022/6/23	
105	NS2-添2-014-24	VI-2-11-2-7-9 格納容器空気置換排風機の耐震性についての計算書	P.1	「2.1 配置概要」について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設置される (新)設置されている	2022/6/23	
106	NS2-添2-014-24	VI-2-11-2-7-9 格納容器空気置換排風機の耐震性についての計算書	P.1	「2.1 配置概要」について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)隣接しており (新)隣接していることから	2022/6/23	
107	NS2-添2-014-24	VI-2-11-2-7-9 格納容器空気置換排風機の耐震性についての計算書	P.1	図2-1のタイトルについて、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)格納容器空気置換排風機と原子炉棟空調換気系入口隔離弁の位置関係図 (新)格納容器空気置換排風機と上位クラス施設の位置関係図	2022/6/23	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
108	NS2-添2-014-24	VI-2-11-2-7-9 格納容器空気置換排風機の耐震性についての計算書	P.1	図2-1について、波及的影響を考慮する下位クラス施設及び上位クラス施設の位置関係を明確化するため、図を見直しました。	2022/6/23	
109	NS2-添2-014-24	VI-2-11-2-7-9 格納容器空気置換排風機の耐震性についての計算書	P.3	表2-1における概略構造図について、明確化のため以下を追記しました。 ・(全体図) ・(側面図)	2022/6/23	
110	NS2-添2-014-24	VI-2-11-2-7-9 格納容器空気置換排風機の耐震性についての計算書	P.8	「1.2 機器要目」におけるSuiの素材径について、明確化のため以下の項目を追記しました。 ・基礎ボルト ・ケーシング取付ボルト ・原動機取付ボルト	2022/6/23	
111	NS2-添2-009-31	VI-2-9-4-5-1-3 非常用ガス処理系前置ガス処理装置及び後置ガス処理装置の耐震性についての計算書	P.1	「1. 概要」について、表現の適正化のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)十分な構造強度を有し、動的機能を維持できることを説明する (新)十分な構造強度を有していることを説明する	2022/6/23	
112	NS2-添2-009-31	VI-2-9-4-5-1-3 非常用ガス処理系前置ガス処理装置及び後置ガス処理装置の耐震性についての計算書	P.2	表2-1における概略構造図について、明確化のため以下を追記しました。 ・基礎	2022/6/23	
113	NS2-添2-009-31	VI-2-9-4-5-1-3 非常用ガス処理系前置ガス処理装置及び後置ガス処理装置の耐震性についての計算書	P.11	「5.1 構造強度評価方法」に、荷重の組合せ方法の明確化のため以下を追記しました。 ・また、水平方向及び鉛直方向の動的地震力による荷重の組合せには、SRSS法を適用する。	2022/6/23	
114	NS2-添2-009-31	VI-2-9-4-5-1-3 非常用ガス処理系前置ガス処理装置及び後置ガス処理装置の耐震性についての計算書	P.19,20	図5-1及び図5-2における誤記を修正しました。(下線部参照) (旧)引張り (新)引張	2022/6/23	
115	NS2-添2-009-31	VI-2-9-4-5-1-3 非常用ガス処理系前置ガス処理装置及び後置ガス処理装置の耐震性についての計算書	P.21	「5.4.1 応力の計算方法」における「(SRSS)」の記載について、不要であるため削除しました。	2022/6/23	
116	NS2-添2-014-32	VI-2-11-2-7-17 廃棄物処置建物排気処理装置の耐震性についての計算書	P.1	「1. 概要」の記載について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)「基準地震動Ssによる地震力」に対して (新)基準地震動Ssによる地震力に対して	2022/6/23	
117	NS2-添2-014-32	VI-2-11-2-7-17 廃棄物処置建物排気処理装置の耐震性についての計算書	P.1	「2.1 配置概要」の記載について、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)設置される (新)設置されている	2022/6/23	
118	NS2-添2-014-32	VI-2-11-2-7-17 廃棄物処置建物排気処理装置の耐震性についての計算書	P.1	表2-1における位置関係図について、波及的影響を考慮する下位クラス施設及び上位クラス施設の位置関係を明確化するため、図を見直しました。	2022/6/23	
119	NS2-添2-014-32	VI-2-11-2-7-17 廃棄物処置建物排気処理装置の耐震性についての計算書	P.1	図2-1のタイトルについて、以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)C-廃棄物処理建物排気処理装置の位置関係図 (新)C-廃棄物処理建物排気処理装置と上位クラス施設の位置関係図	2022/6/23	
120	NS2-添2-014-32	VI-2-11-2-7-17 廃棄物処置建物排気処理装置の耐震性についての計算書	P.2	表2-1における概略構造図について、明確化のため以下を追記しました。 ・(全体図) ・(側面図)	2022/6/23	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
121	NS2-添2-014-32	VI-2-11-2-7-17 廃棄物処置建物排気処理装置の耐震性についての計算書	P.3	「2.3 評価方針」について、誤記のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧) VI-2-1-9「機能維持の基本方針」にて設定した (新) VI-2-11-1「波及的影響を及ぼすおそれのある下位クラス施設の耐震評価方針」にて設定した	2022/6/23	
122	NS2-添2-014-32	VI-2-11-2-7-17 廃棄物処置建物排気処理装置の耐震性についての計算書	P.16	「5.4.1 応力の計算方法」について、誤記のため以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧) 各ボルト働く力 (新) 各ボルトに働く力	2022/6/23	
123	NS2-添2-014-32	VI-2-11-2-7-17 廃棄物処置建物排気処理装置の耐震性についての計算書	P.17	「5.6.1 ボルトの応力評価」における弾性設計用地震動Sd又は静的震度による荷重との組合せの場合の以下の許容応力の記載について、不要なため削除しました。 ・許容引張応力 ・許容せん断応力	2022/6/23	
124	NS2-補-027-10-10 改01	高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書に関する補足説明資料	目次	他の適正化内容の反映に伴い、目次を最新化しました。	2022/6/23	
125	NS2-補-027-10-10 改01	高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書に関する補足説明資料	P.3	計測センサー取付位置を示す記号が図と重なっていたため見直しました。また、座標系、振動台、振動台の計測センサー取付位置を追加しました。	2022/6/23	
126	NS2-補-027-10-10 改01	高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書に関する補足説明資料	P.4	計測センサー取付位置の詳細を示す図を追加しました。また、追加に伴い図番号を見直しました。	2022/6/23	
127	NS2-補-027-10-10 改01	高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書に関する補足説明資料	P.5	図2-2について、縦軸は応答倍率であり、振動数が0に近づくとき、試験体も加振台とほぼ同じ動きとなるため、応答倍率としては1に近い値となることを確認しました。	2022/6/23	
128	NS2-補-027-10-10 改01	高圧原子炉代替注水ポンプの耐震性についての計算書に関する補足説明資料	P.6	停止中加振を行った考え方について注記として追記しました。	2022/6/23	
129	NS2-補-027-10-15 改01	剛な設備の固有周期の算出について	P.2	他の適正化内容の反映に伴い、目次を最新化しました。	2022/6/23	
130	NS2-補-027-10-15 改01	剛な設備の固有周期の算出について	P.3	「2. 代表設備」について、表現の適正化のため以下を追記しました。(下線部参照) (旧) 剛であると判断している。 (新) 剛構造であると判断している。	2022/6/23	
131	NS2-補-027-10-15 改01	剛な設備の固有周期の算出について	P.3	燃料プール冷却系ポンプ室冷却機のコイルチャンバについて評価する旨を記載しました。	2022/6/23	
132	NS2-補-027-10-15 改01	剛な設備の固有周期の算出について	P.3	他の適正化内容の反映に伴い、記載を修正しました。(下線部参照) (旧) また、1項に示すファンは、 (新) 1項に示すファンは、	2022/6/23	
133	NS2-補-027-10-15 改01	剛な設備の固有周期の算出について	P.7,8,11,12	表番号を、図番号の付け方と統一するため修正しました。	2022/6/23	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
134	NS2-補-027-10-15 改01	剛な設備の固有周期の算出について	P.7,8	表4-1の記号説明の明確化のため、記号説明を修正しました。	2022/6/23	
135	NS2-補-027-10-15 改01	剛な設備の固有周期の算出について	P.9	図4-2-1の評価部位の名称見直し及び追加しました。また、側面図を追加しました。	2022/6/23	
136	NS2-補-027-10-15 改01	剛な設備の固有周期の算出について	P.9	図4-2-2にケーシングの図を追加しました。	2022/6/23	
137	NS2-補-027-10-15 改01	剛な設備の固有周期の算出について	P.10	図4-2-1の評価部位の名称見直しに伴い、記載を修正しました。(下線部参照) (旧)ケーシング取付ボルトの剛性 (新)基礎ボルト(ケーシング)の剛性	2022/6/23	
138	NS2-補-027-10-15 改01	剛な設備の固有周期の算出について	P.10	中央制御室送風機軸系の固有周期算出に使用している解析コードを記載しました。	2022/6/23	
139	NS2-補-027-10-15 改01	剛な設備の固有周期の算出について	P.10	図4-2-3に記号の説明及び座標系を追加しました。	2022/6/23	
140	NS2-補-027-10-15 改01	剛な設備の固有周期の算出について	P.11,12	記号の説明を表4-2として追加し、以降の表番号を適正化しました。	2022/6/23	
141	NS2-補-027-10-15 改01	剛な設備の固有周期の算出について	P.13	図4-2-4に座標系を追加しました。また、図の向きを見直しました。	2022/6/23	
142	NS2-補-027-10-15 改01	剛な設備の固有周期の算出について	P.13~15	燃料プール冷却系ポンプ室冷却機のコイルチャンバが剛構造であることを説明するため、「4.3 燃料プール冷却系ポンプ室冷却機のコイルチャンバ」を追加しました。	2022/6/23	
143	NS2-補-027-10-15 改01	剛な設備の固有周期の算出について	P.16	燃料プール冷却系ポンプ室冷却機のコイルチャンバが剛構造である旨を追記しました。	2022/6/23	
144	NS2-補-027-10-15 改01	剛な設備の固有周期の算出について	P.16	添付資料1の追加に伴い、記載及び注記を適正化しました。	2022/6/23	
145	NS2-補-027-10-15 改01	剛な設備の固有周期の算出について	P.17~22	既往知見の調査結果を添付資料1として追加しました。	2022/6/23	